

会 議 録

会 議 の 名 称	令和5年度第1回所沢市産業振興ビジョン推進会議
開 催 日 時	令和5年8月23日(水) 14:00~16:00
開 催 場 所	所沢市役所 604会議室
出 席 者 の 氏 名	(会議に参加した委員) 河藤 佳彦、三上 誠、清水 豊、新井 重雄、朝倉 はるみ、 飯塚 清隆、佐藤 隆洋、大木 敬治
欠 席 者 の 氏 名	佐藤 護、新井 祥穂、室住 敬寛
説 明 者 の 職 ・ 氏 名	なし
議 題	(1) 所沢市産業振興ビジョンにおける令和4年度実績について (2) 後期アクションプランの重点推進事業について (3) 令和4年度所沢市地域経済動向調査の概要について (4) 今後の会議の進め方について (5) その他
会 議 資 料	資料1-1: 所沢市産業振興ビジョン推進状況確認シート (令和5年3月末) 資料1-2: 所沢市産業振興ビジョン 前期アクションプランの 活動について 資料1-3: 各重点推進事業における今年度の取組内容 資料1-4: 令和4年度 所沢市地域経済動向調査 結果概要 参考資料: 委員名簿、所沢市域経済動向調査 ~令和4年度調査~ 報告書
担 当 部 課 名	産業経済部 部長 鈴木 明彦 産業経済部 次長 畑中 武 産業経済部 産業振興課 課長 奈良 和子 主査 安齊 克徳 主査 前川 浩二 主査 向井 達哉 主任 森田 康隆 主任 佐久間 香穂 主事 利根川 尊哉 産業経済部 商業観光課 課長 古田 晃一 主幹 堤 健太郎 主査 相笠 豊 主査 藤井 徹 産業経済部 農業振興課 課長 大館 寿貴 事務局 産業経済部 産業振興課 電話 04-2998-9157

様式第2号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
産業振興課長	開会
会長	あいさつ
産業振興課長	配付資料の確認
会長	それでは、議事を進める。本日、傍聴希望者はいるか。
事務局	1名いる。
会長	入場を認める。傍聴者は所沢市情報公開条例に基づき、静粛に、会議の妨害などしないようお願いします。
	議事（1）所沢市産業振興ビジョンにおける令和4年度実績について 議事（2）後期アクションプランの重点推進事業について
会長	議事（1）「所沢市産業振興ビジョンにおける令和4年度実績について」は昨年度までの実績報告であり、議事（2）「後期アクションプランの重点推進事業について」は今年度の各重点推進事業にどのように取り組むかの確認事項である。そのため、事務局より議事（1）及び議事（2）について続けて説明し、その後に委員に意見等を求めるものとしたい。
事務局	資料1-1及び資料1-2に基づき、所沢市産業振興ビジョンにおける令和4年度実績及び前期5年間の総括について説明 続けて資料1-3に基づき、後期アクションプランの重点推進事業について説明
会長	質疑、意見はあるか。
委員	新型コロナウイルス感染症が蔓延した時のように、今後も観光客が市内の観光地に来られないような事態が起きる可能性はある。観光に関連する商品の販売力を低下させないため、新たな販路としてECに力を入れる必要がある。
	また、販路を開拓するのも重要である一方、商品自体の魅力や、飽きられないように常に新商品を開発していくことも重要である。小規模事業者が独自で新商品開発をすることは難しい部分があるため、マッチングの創出等による新商品開発への後押しや、商品をブラッシュアップできる機会を与える等の支援を、市として推進していくべきである。
	所沢の観光の拠点はサクラタウン周辺エリアであると思うが、サクラタウンを目的に訪れた観光客を、うまくYOT-TOKOに誘導できていない。
	また、サクラタウン自体もアニメの聖地という割にはさほどそれに特化していない。さらに個性を引き出し、情報発信していく必要がある、

<p>会長</p>	<p>YOT-TOKOも連動し、魅力と回遊性を高める取組が必要である。</p> <p>他に意見はあるか。</p>
<p>委員</p>	<p>サクラタウンと YOT-TOKO をつなぐブリッジの下を流れる東川でも、埼玉県が観光に関する事業を実施しているが、連携はとれないか。</p> <p>ブリッジに観光客を呼び込む仕掛けをする場合、その費用は YOT-TOKO の指定管理者である所沢まちづくり共同事業体が拠出するのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>埼玉県では「埼玉の豊かな水と緑を守り育む」を重点テーマに掲げ、民間事業者と連携し、より魅力的な水辺空間の創出を図る「水辺 de ベンチャーチャレンジ」事業を実施している。本事業の対象として、昨年度、YOT-TOKO 周辺の東川が登録され、周辺自治会や団体などで構成される協議会を設置したところである。現在、周辺のサクラタウンや YOT-TOKO と一体となった活用方法について埼玉県と連携して検討しており、内容が具体化すれば、お伝えしたい。</p> <p>2 点目の質問について、ブリッジの大部分は所沢市が所有している。活用を図る場合は、具体的な実施策や費用負担等について市と指定管理者とで協議が必要と考える。また、埼玉県、所沢市、(株)KADOKAWA で連携協定を結んでおり、(株)KADOKAWA 側とも連携できればと考える。</p>
<p>会長</p>	<p>前期アクションプランの先導プロジェクト A、重点事業 1 の「企業誘致推進事業」について、所沢市に企業を誘致する際にどのような点をアピールしているのか、特に誘致をしたい業種はあるか。</p> <p>また、今後はどのような体制で企業誘致を推進していくのか。</p> <p>先導プロジェクト B、重点事業 2 の「地域の中核となる事業者等応援事業」において事業者訪問を行っているとのことだが、訪問先の選定基準は何か。</p> <p>また、そういった事業者を支援することで地域にどのような波及効果をもたらしたいと考えているか。</p> <p>先導プロジェクト C、重点事業 3 の「観光客回遊性創出事業」において、神奈川県大磯町で観光 PR イベントを実施したとあるが、どのような経緯及び目的で実施したのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>「企業誘致推進事業」において、企業に対するアピールポイントとしては、鉄道網や高速道路網等の交通インフラが発達していること、地盤が強固であること、労働者人口が多いことの 3 点を主に挙げている。</p> <p>三ヶ島工業団地周辺地区は組合施行による区画整理を予定しており、現在は土地区画整理組合設立準備会を中心に企業へ周知し推進活動を行っている。市による立地希望企業の決定はできないが、特に立地を希望している業種は、地元の雇用が多く生まれる製造業である。市は、準備会や業務代行予定者と情報共有を図り、企業に対して PR を実施し、反応があった場合は業務代行者へつなぐ活動を行っている。</p>
<p>会長</p>	<p>三ヶ島工業団地周辺地区の企業誘致活動については、準備会や業務代行予定者と連携を図り、同地区の企業誘致におけるビジョンも共有しながら一体となって推進活動を進められたい。今後については、地元事業者の意向も踏まえ企業誘致に関する戦略を考えるとよい。</p>

事務局	<p>「地域の中核となる事業者等応援事業」については、市職員と商工会議所の職員とで訪問し、課題やニーズをヒアリングし、政策に活かす目的で実施しているが、どのように政策に活かしていくか、また、どのように地域の他の事業者にも効果を波及させていくかについては、課内でも課題として捉えているところである。</p>
会長	<p>まずは対象事業者をしっかりと選定することが重要である。地域との関連性が高い事業者を見極め、その事業者を支援することで自ずと地域の事業者への支援にもつながる。</p> <p>また、地域を牽引する事業者の支援は国も実施しており、選定や支援に係るノウハウや趣旨については、国の取組方法を参考にするとよい。</p>
事務局	<p>事業者を選定する基準であるが、地域経済分析システム（RESAS-BI）から抽出したデータを基にしている。雇用への貢献や地域内での仕入額、あるいは経営革新計画を取得しているか等も考慮し選定している。</p>
会長	<p>選定方法については適切であると思われる。</p>
事務局	<p>「観光客回遊性創出事業」において神奈川県大磯町でPRを実施した経緯は、大磯町と関りがある日高市において、観光PRの機会があり、日高市よりダイアプラン（埼玉県西部地域まちづくり協議会）を形成する他の4市に声がかかったものである。ダイアプランの5市（所沢市、飯能市、狭山市、入間市、及び日高市）では様々な連携を図っており、今回の取組はその一環である。</p> <p>埼玉県と神奈川県とは、圏央道や西武鉄道等の鉄道網により近接性が増しており、より多くの方に観光してもらえるように実施した。</p>
会長	<p>所沢市の観光の特色は都市型観光であるため、日帰りの観光が可能な位置関係にある地域に観光PRを行うのは有効である。</p>
委員	<p>先導プロジェクトA、「企業誘致推進事業」の取組として、金融機関や不動産事業者への訪問を行っているが、金融機関等との連携に関して、新たに得たものや今後の展開で活用できそうなものはあるか。</p> <p>また、後期アクションプランの重点推進事業「新規創業等支援事業」や事業継続力強化支援事業においては所沢商工会議所との連携が重要である。現在の連携状況や連携を図る中で出た課題について説明をお願いしたい。</p>
事務局	<p>昨年度は企業の新規立地や移転等の情報共有のため、市内に支店がある民間金融機関の基幹店15支店に訪問した。市としては金融機関等に訪問することにより忌憚のない情報交換ができ、金融機関としても市の情報提供は有難いとの反応であった。今後とも継続し、連携を図っていきたい。</p>
事務局	<p>所沢商工会議所の職員は企業支援に関する高い見識があり、地元商工業者の情報も多く持っている。支援施策や地域の商工業者が抱える課題やニーズについて情報交換を行い、今後も施策に反映していきたい。</p> <p>新規創業等支援事業でも連携を図っているが、創業後の支援に関して課</p>

	<p>題を感じている。この課題を所沢商工会議所と共有し、継続的な支援にあたりたい。</p>
会長	<p>議事（３）令和４年度所沢市地域経済動向調査の概要について</p> <p>議事（３）「令和４年度所沢市地域経済動向調査の概要について」事務局らから説明を求めたい。</p>
事務局	<p>資料１－４に基づき、令和４年度所沢市地域経済動向調査の概要について説明</p>
会長	<p>地域経済動向調査の結果については、議事（４）で意見をいただく際の材料となるものであり、参考にされたい。</p>
会長	<p>議事（４）今後の会議の進め方について</p> <p>議事（４）「今後の会議の進め方について」事務局より説明を求めたい。</p>
事務局	<p>今後の会議の進め方について説明</p>
会長	<p>趣旨としては、産業振興ビジョンに掲げられた計画を効果的に実施していくため、今後、どのような議論をしていくかについて意見を求めるものである。また、今年度の会議がすべて終了した後に、出た意見を整理し、本推進会議の成果とするとともに、今後における施策検討の材料とするものとしたい。</p> <p>今回の会議では、議題（１）から議題（３）の報告事項も踏まえ、重要な論点となりうるものについて意見をいただきたい。</p>
委員	<p>後期アクションプランにおける重点推進事業については、予算取りされている事業について目標が定められているが、それとは別に特定の重要なテーマについて検討するのはどうか。</p> <p>例えば埼玉県では、計画に記載されていないが、DXの推進や価格転嫁のため支援を実施している。</p>
委員	<p>「農商工連携推進事業」で実施した、「農商工連携のためのきっかけづくり交流会において147件のマッチング希望があったことは大きな成果である。「地域産業を牽引する事業者等支援事業」においても事業者同士がつながるような取組ができればよい。</p> <p>全体的なテーマになるが、企業の労働生産性や情報発信等の分野において、DXを後押しするような取組をするのもよいのではないか。</p>
委員	<p>ここ数年、サクラタウン周辺の発展は著しいが、近隣の商店街や商業者への恩恵は少ないだろう。</p> <p>DXへの取組は重要であるが、商業者にとってはより多くの人を商店街に呼び込むという原点に立ち返ることが最も重要である。</p>
委員	<p>今後の会議の進め方に関する意見として、第２回会議の際に半期の実績</p>

委員	<p>を振り返り、その進捗状況や出てきた課題について推進会議に諮ってはいかがか。各課からの率直な感触を聞いていただき、会議でブラッシュアップして年度後半の推進施策や次年度以降の施策に反映していく。</p> <p>所沢は都市近郊に位置しており、観光分野についてもその特性が生きると考える。農業を通した生きがいづくりとして、観光客に近郊農業を体験していただき、収穫の喜びや健康づくり、食育につながるような体験型の観光を推進していく手法も取れるのではないかと考える。</p>
委員	<p>新所沢パルコ、西友小手指店が撤退する一方、所沢駅周辺地区では大規模な商業施設の建設、再開発が進み、現在、市は大きな変化の時期にある。大きく変わる時は大きなチャンスの時でもある。新たな取り組みや工夫について次回の会議からは議論ができればよいと思う。群馬県の事例ではダム放流を見せるツアーを行うなど、インフラをそのまま観光に活かすアイデアもある。工業分野では金融機関が海外進出を後押しする動きもあり、これらの動きを捉え新たな取組を模索してもよいのではないかと考える。</p>
委員	<p>既存の三ヶ島工業団地はかつての環境事業団が組織改編前に最後に整備した工業団地である。同事業団が整備した他の工業団地では、団地の譲渡に係る借入金を返済できず、支払期限を延長している中、当工業団地は当初条件通り20年で完済し、さらに同地区で新たな工業団地を計画している。その旨を管轄する環境省に報告したところ、他に例がない取組であるとの評価を得た。この点についても企業誘致の際にアピールしていただきたい。また、地域住民からも環境に配慮した工業団地であるとの評価をいただいております。工業団地協同組合としては今後立地する企業にも環境に配慮した取組をいただきたいと考えている。</p> <p>コロナ以降、特にサービス業で創業の機運が高まり、商工会議所が行う創業関連イベントも概ね定員に達している。古民家を活用してカフェを開業する事例等もあるので、地域活性化の一環として、都市型産業等育成補助金の対象業種や対象施設を拡大し、創業を後押しすべきである。</p> <p>東所沢地区にサクラタウン、YOT-TOKOが並んでいるが、サクラタウンの観光客をYOT-TOKOへうまく誘導できていないのではないかと考える。(株)KADOKAWAは大企業であり、単独でもやっていけるが、地域活性化のためにはうまく巻き込んでいく工夫が必要である。</p> <p>市が目指しているゼロカーボンに資するためにも、地産地消の取組は更に推し進めていく必要がある。</p> <p>質問するが、地域経済動向調査における商工業者の回答で、「価格転嫁ができていない、または価格転嫁できる見込みがある」としている事業者が37.9%を占めているとのことだが、工業者にとっては価格転嫁できているという実感がない。実態を捉えていない設問になっている可能性があるため、今後の調査については業種別に調査をすることはできないかと考える。</p>
事務局	<p>地域経済動向調査については第2回会議で委員の皆様にご質問内容を諮る予定である。その際に、業種がわかるような設問内容をご提示したいと考えている。</p>
会長	<p>今回出た個別のテーマに関する意見を含め、次回会議以降にどのように反映し、議論を進めていくかに関して、会長と事務局とで整理をしたうえで</p>

各委員	<p>で各委員に改めて提示する。</p> <p>了承</p>
会長	<p>議事（５）その他</p> <p>議事（５）「その他」について、各委員から何か伝達しておきたい事項はあるか。</p>
事務局	<p>無いようであれば事務局から連絡事項をお願いしたい。</p> <p>次回の会議開催予定について連絡</p>
会長	<p>議事は以上となる。事務局にお返しする。</p>
産業振興課長	<p>閉会</p> <p style="text-align: right;">以上</p>